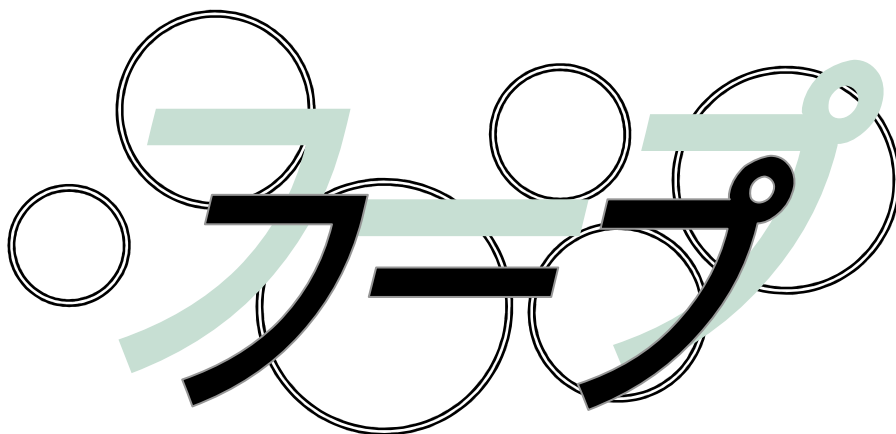




～（女性建築士の輪）～

奈良県建築士会 女性委員会  
2013 年 冬号  
第 73 号



和歌山 加太

---

---

目 次

---

---

- |                                                              |                 |       |
|--------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| ■ 近畿建築士会協議会女性部会合同見学会に参加して<br>～和歌山 加太、友が島～                    | 山本 規子           | 1 ページ |
| ■ 第 3 2 回 近畿建築祭奈良大会の報告                                       | 本保 万貴子          | 2 ページ |
| ■ 私と建築                                                       | 梶谷 治美           | 4 ページ |
| ■ 平成 2 5 年新年名刺交換会と<br>景観調和デザイン賞表彰式<br>見学会のごあんない ～国宝「如庵」を訪ねて～ | 庄田 尚代<br>宮崎 眞友美 | 5 ページ |
| ■ 今後の事業予定                                                    |                 | 6 ページ |

『近畿建築士会協議会女性部会  
合同見学会に参加して  
～和歌山 加太、友が島～』

山本 規子

平成24年11月3日、本年度は和歌山が担当で合同見学会が開催されました。講演会会場の休暇村は、瀬戸内海を一望できる高台にあり、大小の船がにぎやかに散らばる穏やかな海が眼下に広がります。午前中は、和歌山大学 本多友常教授による講演『（仮）改修後の高野口小学校』が行われました。演目は改修後の・・・でしたが、お話を伺って興味深かったのはむしろ改修が行われる過程の方で、2012年3月号の新建築に紹介された記事が資料として配布されました。1995年の阪神淡路大震災をきっかけに、築70余年の高野口小学校の耐震性の危惧から、PTAからの陳情書が行政に提出されたことが始まりで、現場の先生方の声も後押しして、翌年には旧校舎の取り壊し、建て替えが採択されました。しかし、準備段階の調査に入ってみると、800本に上る上質な檜の柱は、ほとんど劣化しておらず、床組も健全なままで、現代の耐震基準には合わないものの、補強すれば比較的簡単に性能を上げることができ、他の不具合もいろいろなアイデアをもってすれば、解決できることが判ってきたのです。

ここから2008年の着工までいかにしてこぎつけたのか。行政、地域住民、現場の先生、生徒、親、卒業生までが何を守り、どこへ向かうかを考え、どうやって意見をすりあわせていったのか。大学（研究機関）は、どんな手助けを行なったか。まるでドキュメンタリー映画の汁材を想像してしまいました。まだご存知でない方は、是非ご一読ください。



午後からは、加太港から船で友が島に渡り、山道をおよそ1時間、土木学会選奨土木遺産のひとつ、第三砲台跡を見学しました。ここは明治25年、紀淡海峡防衛のため、時の政府が築造したもので、弾薬庫などほとんどの施設が地下に作られていました。アーチが印象的ないが造で、かの宮崎駿監督が、『天空の城ピュタ』を描くとき、朽ち果てた城のイメージの参考にした場所だとか。



内部はすれ違うのがやっとの通路やまったく光の入らない倉庫などで、連れ立って行かないとちょっと薄気味悪い場所でしたが、外に出ると印象は一変し、大砲が取り払われたあとに水が溜まった砲床は、まるでヨーロッパの庭園にあるかわいい池のようでした。



晴れの特異日＋士会きっての晴れ女が参加されたので、絶好の見学会日和に恵まれた上、日ごろの運動不足が解消された楽しい見学会でした。



## 『第32回 近畿建築祭奈良大会の報告』

本保 万貴子

平成24年12月1日、家を出る頃は良い天気を予感させましたが、会場の橿原神宮会館に着く頃には今にも降りそうな空模様に。

近畿建築祭は、近畿建築士の交流等を目的にして、年に一度、近畿6府県持ち回りで開催していますが、昨年度(2011年度)は、建築士会全国大会大阪大会開催が予定されていたので近畿建築祭は開催されず、2年ぶりとなります。

女性委員会は主に受付担当で、前日に準備した受付机と手順・物品を再確認して、10:00 から始まる受付の待機に入ると、早速に和歌山県がバスで到着。その後、続々と参加者がバスや電車で到着されました。参加者は、近畿5府県と三重県で161名、奈良県124名の計285名。



第1部式典は定刻通り10:30から始まりました。でも受付が定刻に終わらず、私は式典に出席出来なかったのですが、福本会長と来賓挨拶の後、会旗が来年開催の大阪府岡本会長に引き継がれました。



11:00からは桜井市纏向学研究センターの寺沢薫所長による記念講演。「王権誕生～日本国家の起源を探る～」と題し、7世紀後半に誕生した「日本」という国号とそれ以前の「部族的国家」「倭国」という国家観や、纏向遺跡調査から推論される3世紀初めに幕開けた古墳時代のヤマト王権の誕生と卑弥呼と邪馬台国の関係についての内容でした。昨年、古事記と日本書紀を少し勉強し、古墳のこともかじっていたので、非常に興味深く拝聴しました。

60分の講演予定時間が延びて、会場内での昼食休憩は少し慌ただしかったです。昼食のお弁当は大変おいしく大好評でした。手配された方、ありがとうございました。

第2部分科会・エキスカッションは、5コースに分かれ、13:00から始まりました。

私はCコース「飛鳥藤原古代宮殿めぐり」に参加。バスで橿原市藤原京資料室、奈良文化財研究所藤原京跡資料室、明日香村の水落遺跡に、その後、徒歩で伝飛鳥板蓋宮跡、酒船石遺跡と万葉文化館を廻ってバスで帰るというコースです。参加者14名スタッフ7名の計21名で、顔ぶれから重鎮コースとも呼ばれていたような…。

今までもよく知っている場所だし、皆さんもよくご存じだと思いますが、概要を記します。

橿原市藤原京資料室では、奈文研の杉山さんに、藤原宮・京復元模型を見ながら説明をしていただきました。672年の壬申の乱に勝利して即位した天武天皇が藤原京を計画・造営した後、皇后の持統天皇が完成させたわが国初の碁盤目状の都城で、日本書紀には694年に持統天皇が藤原京に遷ったと記されています。

奈文研藤原京跡資料室では、同じく杉山さんが説明されるつもりが、事情をご存じないボランティアの方が説明というハプニングもあり、楽しい解説でした。この施設は、奈文研が飛鳥藤原地区で行っている調査研究の成果が展示されています。貴族の屋敷の復元模型や瓦、土器などお宝てんこ盛りです。

次の飛鳥水落遺跡からは、明日香村の西光さんに説明していただきました。

水落遺跡には、藤原京を計画した天武天皇のお兄

さんである天智天皇がまだ中大兄皇子だった時の660年に造った、日本で初めての水時計(漏刻)台のための楼閣建物が建っていました。この水時計建物のことも日本書紀に記載されています。当時非常に珍しい2階建て、もうすでに版築(ハンチク)工法が使われていたようです。



この頃までは、時折射す日差しが暖かったのですが、次の伝飛鳥板蓋宮跡に向かって歩き始めた頃から風が強くなり、とても寒くて説明を聞いているのが辛いくらいでした。

明日香村岡にある伝飛鳥板蓋宮跡は、飛鳥京跡の一角にあり、飛鳥京は舒明・皇極・斉明・天智・天武・持統の5人6代の大王宮が置かれました。持統はこのあと藤原京に遷ります。板蓋宮はこのうち皇極天皇(在位642~645年)の宮ですが、伝飛鳥板蓋宮跡には「伝」が付いているように板蓋宮の跡だとは確定していません。



そして、寒さに震えながら、万葉文化館の南隣にある酒船石遺跡へ。酒船石のある丘陵の北裾には、亀形石槽と小判形石槽が並んであります。その周りには、天理石上から運んだ花崗岩を使って版築工法で造られた階段状石垣や垂直に積んだ石垣があり、斉

明天皇の両槻宮(ふたつきのみや)ではないかとも言われていて、日本書紀にある「石の山丘」等の記事がこの遺跡と合致しています。この遺構は、造営後に何度か改修されながら平安時代に廃絶されるまで、約250年存続したことが判明しているそうです。

舒明天皇の皇后で天智・天武の母である皇極天皇が、655年に再び即位して斉明天皇になると中央集権国家への道を歩み出し、力を誇示するために相次ぐ宮殿造営や土木工事を行っていたようで、今につながる女傑だなあ、なんて、参加者の女性達を見ながら、ちょっと頭をよぎりました。



このあと、希望者は酒船石を見るために、丘の上に上りましたが、私はあまりに寒くて、万葉文化館に逃げるように飛び込んで、コーヒブレイク。

万葉文化館では、冬の万葉日本画展「天一万葉の心に触れる一」を展示しており、千住博さんほか、万葉集をテーマにした日本画を鑑賞しました。

藤原京や明日香村の遺跡は、折につれて訪れ見慣れていて、よく知っていると思い込んでいましたが、酒船石は濁酒を清酒にする施設ではなく、水を使う庭園の一部らしいとか、今回のエキスカーションで時代遅れの知識を思い知らされ良い勉強になりました。奈良県で4番目の世界遺産登録を目指している藤原京とその周辺地区は、関心を持ってみると奥深く面白いし、地元にいるからいつでも行けるではなく、地元だからよく知っていなければ、と改めて感じています。古事記の方が面白いと思っていましたが、日本書紀ももっと知りたくなりました。

スタッフの皆様、寒い中、本当にご苦労さまでした。めちゃくちゃ寒かったけど楽しい1日でした。



## 『私と建築』

梶谷 治美



現在、私は事務員をしています。伝票書き、書類の整理、掃除、お茶入れと雑務を引き受けて毎日、キリキリ舞いしています。この仕事、全く建築には関係がありません。伝票に会社名を書く時ぐらいでしょうか。

私と建築との関係を考えましたが、父親の影響でしょう。実家では、兼業農家です。台所は土間お竈さん、風呂は五右衛門風呂、井戸からポンプで水汲みでした。父は土間の台所を板の間に変えました。柱、壁、屋根、天井と父の手でどんどん出来上がっていきます。壁の小舞竹を組み立てを手伝った記憶が残っています。出来上がって行くのが、とても面白く、壁塗りまでやりたいと父にねだったと思います。（うるさい子供でした）

小学生の高学年の家庭科の授業で自分の住まいの間取りを書くと、これがとても楽しく、高校は工業の建築科を選びました。卒業後、大阪で大手プレハブメーカーに就職、ここでは会社の寮や、アパートの受注、ビルの賃貸契約書類の作成などと不動産に関係する仕事を中心でした。結婚をし一人目の子供を出産、子育てするには大阪の空気が身体に合わないとい医者に云われて、それを期に奈良の橿原で小さな家を建て（設計は私）暮らす事になりました。子供の時に間取りを考えたものとは違う、土地の規制により小さな家です。転勤で、プレハブメーカーの展示場での説明や、契約に関係する仕様書の作成、契約書類の準備など、忙しくて、楽しい毎日でした。

そんな時期に会社が、倒産！ハウス部門は解体し、社員はそれぞれに別会社に就職されました。

私は、当時二人目の出産前でしたので、退職して一旦家庭に入り出産後、子供二人を義母に預けて、今の会社に就職しました。

一軒の家に二人の主婦は必要ではなくて、私が外で働く事になりました。

何度かは、建築の仕事に戻りたいと面接受けましたが、未だに実現していません。

建築士の免許は建築には関係のない今の会社に入ってから、取得しました。何だかとても建築と離れ難く思い、士会の図面の講習会に行き、知人には法規の解らない所を教えて貰いました。無事に合格しました。苦しい、楽しい、嬉しい時間だった事を思い出しました。

この時に士会に入会しました。当時、女性委員会の立ち上げ時期にだったと思います。

とってもバイタリティある女性達の引率によりフープが刊行されました。又、一冊目の冊子、

「大和茶室探訪」の作成に少しだけですがお手伝いできたことは嬉しい事でした。この機会にと、お茶のお稽古を始めました。今もお稽古を続けて居ます。お茶室を拝見する時に役立てる事が出来ると、思いましたがなかなか出来ないものです。成長は少しずつです。

三冊目の冊子「大和茶室探訪」Ⅱ-2にも参加しました。個人のお茶室を拝見させていただきました。どちらのお茶室もご主人の想いのこもったお席と思います。今後、改装を受ける者はこの思いに答えられる技術と見識をつけていただけたらと思います。

それから、いろんな建築物の見学、勉強会に参加できたこと、たくさんの女性会員の皆様と、知り合えたことは、私にとって建築に繋がる唯一の道だったと、今でも変わらない思いです。

これからも、いろんな所に行き、たくさんの建築物を観て、私の建築に繋がる道を広げる事にしたいと思います。

## 平成25年 新年名刺交換会 と景観調和デザイン賞表彰式



楽しかったです！ 集合写真には入れなかったですが。・・・汗  
ミヤザキ



1月11日（金）17：00より奈良ホテル「大和の間」にて新年名刺交換会が開催されました。

同時開催の景観賞の授賞式では、知事賞、会長賞、奨励賞、審査委員長賞の受賞者方が表彰され、また記念撮影に応じられていました。審査委員長の出江先生の総評は、「奈良や京都の古いまちは、美しい。現在の建築はケミカルな材料でつくられ、ドライで貧相になってしまった。奈良のような古く美しい街には、現在の建築基準法だけではなく、奈良独自の景観条例のようなものを設けるべきである。奈良のまちの本質の「沈黙」が受賞作品には存在した。」というものでした。

その後の名刺交換会では、来賓、参与会、会員で計114名の参加で大変賑わっていました。女性会員は女性委員会委員長、副委員長はじめ7名の出席でした。(>\_<)今後のイベントや、企画についてのお話で盛り上がっていました。

## 見学会のごあんない ～ 国宝「如庵」を訪ねて ～

【開催日】 平成25年 3月 17日(日)

【行 先】 愛知県および岐阜県

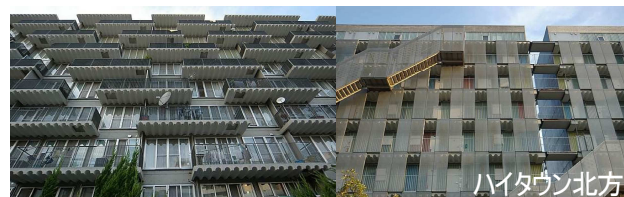
【参加費】 3,000円（非会員5,000円）

毎年恒例の**女性委員会主催**の**一日見学会**を**3月17日(日)**に開催する運びとなりました。本年度の行先は**愛知県および岐阜県**。愛知県犬山市の有楽苑内にある、普段は容易に見ることができない**国宝茶室三名席の一つ「如庵」への特別見学**(約7名ずつ2畳半台目向切のお茶室内へ入室見学予定)、**長良川うかいミュージアム**と**ハイツタウン北方**など盛り沢山の企画です。この見学会を通して、建築についての理解を深めると同時に、会員相互の親睦を図っていただき、楽しく有意義な一日を過ごせますよう、多数のご参加をお待ちしております。

なお、詳しくは土会奈良2月号に同封の**チラシ**をご覧ください。 （企画部 宮崎眞友美）



有楽苑／国宝茶室「如庵」



ハイツタウン北方



長良川うかいミュージアム

## 今後の事業予定

平成 25 年

- 2月2日(土)  
既存木造住宅の耐震診断・補強設計講習会「限界耐力計算」(ならまちセンター)
- 2月2日(土)  
奈良県地域文化財建造物専門家育成講習会
- 2月2日(土)  
女性委員会新年会(ごきげんえびす大和西大寺店)
- 2月6日(水)  
青年委員会1級、2級、木造建築士合格者交流会(嘉雲亭)
- 2月21日(水)  
第4回一級・二級・木造建築士定期講習(春日野荘)
- 3月9日(土)  
奈良県景観調和デザイン賞報告会&景観まちづくり(奈良県産業会館)
- 3月9日(土)  
奈良県地域文化財建造物専門家育成講習(奈良県産業会館)
- 3月13日(水)  
理事会(建築士会館)
- 3月17日(日)  
女性委員会見学会(愛知・岐阜方面)

- 4月24日(水)  
理事会(建築士会館)

- 5月23日(木)  
通常総会(奈良県文化会館)

### ～編集後記～

早いもので新年あけてもう2ヶ月が経とうとしています。今年は例年よりなんだか寒いような気がします。皆様体調など崩されていませんか。

先週珍しく雪が積もり、大喜びで雪だるまを作りました。奈良県人は海と雪をみるとテンションが上がるようです。といっても10cm程度では、石・砂利雑じりの「ごま塩雪だるま」になってしまいました。

年末年始の大変お忙しい時に原稿をお引き受けくださいました方々に本当にありがとうございました。感謝いたします。

政権が変わった今年は、何か漠然とですが建築業界も変化の年になるような気がします。今後フープも益々多くの情報を皆様に発信できるように頑張っていきたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いします。

(庄田 尚代)

